

活動実施日時

2017年6月23日(金) 26日(月) 11:00~12:00

活動場所 23日:九州大学病院小児医療センター

26日:福岡市立こども病院

活動内容

音楽授業:「クラリネットを見て・聴いて・さわってみよう」

本日の講師

クラリネット/山田陽子、小田美代子 ピアノ/吉田書子

使用楽器:Ebクラリネット、Bbクラリネット、バスクラリネット

本日のプログラム

1. オープニング
2. クラリネットクイズ
3. 色々聴いてみよう
4. さあ!クラリネットを触ってみよう
5. 一緒に歌おう
6. 最後にもう一曲

活動後の感想・反省点・今後の課題

オープニングでは、「2本のクラリネットの為のデュオ」から一曲演奏。

プロの上手な演奏を聴いてもらい生徒達の心を掴みます。

次は「クラリネットクイズ」です。このクイズによって授業としての内容も充実しますが、何より生徒達の授業への関心がとても高まります。

①クラリネットは次のどの楽器の仲間でしょう・・・答えは木管楽器で、概ね正解しますがトランペットに似ているからか金管楽器と答える生徒もいます。

②3種類のクラリネットを音の高さ順に並べるとという問題・・・答えは「クラリネットこわしちゃった」という曲を3種類のクラリネットで演奏します。

③クラリネットは何個に分解できるでしょう・・・ここからが難問です。この答えもクラリネットをだんだん分解しながら演奏するポルカ風クラシック曲「だんだん小さく」で答えを出します。答えは5個。実演による回答に生徒達は興味津々です。

④リードは何でできているでしょう・・・ほとんどの生徒が「竹」と答えましたが正解は「葦」

新しいリードを手にとって見てもらいました。

⑤Bbクラリネットの長さはどれくらいでしょう・・・実際にメジャーで測ります。答えは67cm。ついでにEbクラリネットは47cm、バスクラリネットは150cm

続いて色々聴いてみようでは、クラリネットがオーケストラだけでなく、ジャズやブラスバンド、ちんどん屋さんなど、色々なジャンルで活用されている、とても音域が広く、豊かな表現力を持った楽器だと言うことを説明して、その特徴が理解できる「小さな世界」「美女と野獣」の2曲を演奏しました。「小さな世界」では出てくる国の国旗を並べて、雰囲気盛り上げました。

クラリネットを触ってみようでは、大・中・小のどの楽器を触りたいか楽器を選ばせて、講師が音を出して、生徒がキーを押すと音が変わることを楽しめさせます。これだけでも初めて触る楽器にみんな大喜びでした。

一緒に歌おうでは、「キッズソングメドレー」～バナナの親子、スズメがサンバ、おもちゃのチャチャチャと一緒に歌い、最後に「サウンドオブミュージックメドレー」の演奏をじっくりと聞いてもらい、本日の授業を終了しました。

講師の山田さんや小田さんがとても明るく楽しいおしゃべりで生徒の心を引きつけてくれたので、あっという間に60分が過ぎ、きっと生徒も満足だったと思います。

九大病院の小学校の竹尾先生が、いつもほとんど笑わなこどもがとても楽しそうに笑っていたので本当に良かったと言われました。講師の皆さんお疲れさまでした。

参加者

OnPal/松隈、安田、真隅k、真隅s GAP/川崎

九大病院/小学生14人、中学生4人

こども病院/小学生4人、中学生1人



活動実施日時2017年8月25日(金) 14:00~14:50

活動場所:福岡大学病院小児医療センター

活動内容福大病院サマーコンサート

本日の出演者マリンバ/竹下 恵 ピアノ/安浪由紀子

本日のプログラム

おもちゃの兵隊の行進	L. Jossel
ネコふんじゃった	作者不詳
フィドル ファドル	L. Anderson
タイプライター	L. Anderson
おもちゃのチャチャチャ	越部信義
リバー ダンス	B. whelau

活動後の感想・反省点・今後の課題

先日の音楽授業に続いて、福大病院における第1回目のコンサートを開催しました。新館5階の小児医療センターに、たくさんの入院児童やご家族などに集まっていただきました。

こども向けの楽しい曲を沢山用意してくれた、竹下さんのマリンバの演奏に、こどもたちはとても喜んでいました。

それだけではなく、ネコふんじゃったでは、竹下さんがこども達に、どんなネコが好きですか。と質問して、そのネコを思い浮かべながら、そのネコの雰囲気にあった演奏をします。

また、おもちゃのチャチャチャでは、3つのグループに分かれてもらい、3種類のリズムと一緒に刻んで演奏します。楽器は、竹下さんが持ってきた色々な打楽器です。とても珍しい楽器をこども達に選ばせますが、こども達は色々と迷います。これだけでもとても楽しい雰囲気になりました。

初めての福大病院のコンサートでしたが、看護学校の学生さんが、会場の飾りつけをして下さったり、保育士さんや看護師さんが会場の準備などしっかりとしていただき、とても気持ちの良い演奏会でした。

一つだけ残念だったのは、備え付けの電子オルガンが故障していて、小さな音しか出ない鍵盤があるかと思えば、すごい大きな音のする鍵盤もあって、ピアノの安浪さんが大変苦労されていました。

これを機会に、OnPalで持ち運びしやすい電子ピアノを購入することにしました。

参加者OnPal・GAP/真隅k、真隅s、松隈、川崎、小南
病 院/泊看護師長、今辻副看護部長 ほか多数



活動実施日時2017年8月28日(月) 14:00~14:50

活動場所:福岡市立こども病院 ひだまりギャラリー

活動内容こども病院サマーコンサート

本日の出演者ソプラノ/林 麻耶 ピアノ/安田梨香

本日のプログラム

アルディーティ作曲 ロづけ

南の島のハメハメハ大王

THE BOOM 風になりたい

『モアナと伝説の海』より

「どこまでも~How Far I'll Go~」

『リトル・マーメイド』より「アンダー・ザ・シー」

『崖の上のポニョ』より「海のおかあさん」

『崖の上のポニョ』より「崖の上のポニョ」

活動後の感想・反省点・今後の課題

今回の演奏会では、手づくりの打楽器を沢山用意して、会場の人々と一緒に演奏することをメインにしようという事前の打ち合わせで、林さんと安田さんが、ペットボトルで作った色々な小さな楽器を沢山用意してくれました。

それに竹下さんから借りたペットボトルシェーカーや、私がサウンド・シェイプという楽器に手を加えた波の音を作り出す楽器を作って持って行きました。

夏にちなんで、こども達になじみの深い曲を用意して、

『リトル・マーメイド』より「アンダー・ザ・シー」では、決まったリズムを演奏してもらいました。また、『崖の上のポニョ』より「崖の上のポニョ」では、みんなが思い思いのリズムを刻んで、とても楽しく盛り上がりました。

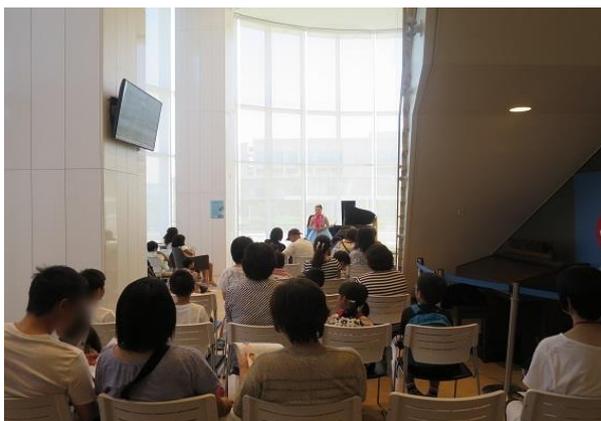
最後に、アンコールで浜辺の歌を歌いましたが、この曲では、波の音の楽器を持っている人にのみ参加してもらい、海辺の雰囲気を楽しみました。

参加者

GAP/真隅潔、真隅昌子

病院/

OnPal・GAP/松隈、川崎、真隅k、真隅s



活動実施日時

2017年11月14日(火) 11時～12時

2017年11月16日(木) 11時～12時

活動場所:

14日: ども病院ひまわり学級 16日: 九大病院がんばる一む

活動内容

オーボエとファゴット～二枚リードの楽器のお勉強

本日の出演者

オーボエ/桐谷美貴子、ファゴット/重松 真央、ピアノ/武末 陽子

本日のプログラム

1. オープニングの曲
♪オーボエ、ファゴット2重奏: ボザ「Contrastes IIよりNo. 7」
2. オーボエ&ファゴットクイズ
①オーボエ&ファゴットはどの楽器の仲間でしょう
②オーボエやファゴットはいつごろできた楽器でしょう。
③ファゴットという名前は、どのような意味からついたのでしょうか。
④ファゴットの長さは何cmでしょう。
⑤オーボエに最も似ている楽器はどれでしょう
※コールアングレで家路を演奏
3. オーボエ、ファゴットの聴き比べ
♪星に願いを
♪日本の歌メドレー
4. 楽器をさわって、音の出してみよう
♪ストローリード
♪楽器をさわって学習
5. 一緒に楽しもう
♪ビリーブ
6. 最後にも1曲
♪サウンドオブミュージックメドレー
アンコール さんぽ

活動後の感想・反省点・今後の課題

OnPalの新しいメンバーでオーボエの桐谷さんによる初授業です。

11月14日ども病院、16日九大病院と連続で行いました。

1か月以上前から授業内容や曲目、クイズネタの打ち合わせを何度も繰り返して検討を重ねました。桐谷さんは嫌な顔一つせず熱心に考えてくれました。8月に行ったFFACコンサートの出演者にOnPalの活動趣旨をお話しして入会を呼び掛けたところ、是非ボランティア活動に参加したいということで入会されたのですが、頼もしいメンバーになってくれそうです。

周到に準備したおかげで、授業はども病院はもとより、とても難しい九大病院でもとても盛り上がりました。クイズでは、オーボエに最も似ている楽器はどれでしょうの答えのコールアングレで「家路」を演奏するなど、印象的な内容にしました。

ストローオーボエは初めて作った頃よりも進化しており、全員の子どもたちが音を出すことができました。とても楽しそうで、2枚リードで音を出す仕組みも理解してくれたと思います。

3人の息の合った演奏の時は、食い入るように見て、聴いている子どもの顔が印象的でした。

とても良い授業だったと思います。ども病院では帰りがけに中学生たちがめっちゃ面白かったねと言ってきていました。

参加者

メンバー/松隈、真隅k、真隅s



活動実施日時2017年12月22日(金) 14:00～:14:50

活動場所:福岡大学病院 小児医療センター(新館5階)

活動内容福大病院クリスマスコンサート

本日の出演者

フルート 高木華子
ソプラノ 林 麻耶
ソプラノ 曲尾理紗
メゾソプラノ 福田綾子
ピアノ 八尋三菜子
ピアノ 安田梨香

本日のプログラム

1. ハレルヤ
 2. 天使のキャロル
 3. グノーのアベマリア
 4. そりすべり
 5. ディズニーメドレー
 6. クリスマスイブ
 7. クリスマスメドレー
 8. ジングルベル
 9. あわてんぼうのサンタクロース
-

活動後の感想・反省点・今後の課題

サマーコンサートに続いて、福大病院で2回目コンサートを行うことができました。会場は大きなクリスマスツリーや素敵なディスプレイが飾られてとても素敵でした。感染症の流行などで来場者は少なかったけれども、小さな子供数人が、最前列の小さなイスに座るなどとても微笑ましい雰囲気です。

コンサートは、ハレルヤの合唱で始まり、ピアノ連弾、フルート独奏、6人全員のアンサンブルなど、とても華やかなステージでした。みんなと一緒に鈴や鳴り物で演奏した「ジングルベル」や「あわてんぼうのサンタクロース」は特に盛り上がり、子どもたちもご家族も笑顔があふれていました。

演奏が終わった後も、車いすの男の子が出演者全員と記念写真を撮るなど、何人もの方が会場に残ってお話をされていました。フルートに刺激されて、ブラスバンド部に入ろうかなと言っていた女の子もいたようです。

一つだけ反省点は、45分前に会場入りしたのですが、ディスプレイに手間取ったり、リハーサル・段取りの打合せが十分でなく、コンサートが何となく始まって少し落ち着きのないスタートだったことです。

25日のこども病院は集合を60分前にしました。

今度は、進め方などきちんと打合せをしたいと思います。

参加者

OnPal / 真隅k、真隅s、松隈 GAP / 川崎k、城戸
病院 / 泊看護師長ほか 来場者 / 25人



活動実施日時2017年12月25日(月) 14:00～:14:50

活動場所:こども病院 ひだまりギャラリー

活動内容こども病院クリスマスコンサート

本日の出演者

フルート 高木華子
ソプラノ 林 麻耶
ソプラノ 曲尾理紗
メゾソプラノ 福田綾子
ピアノ 安浪由紀子
ピアノ 安田梨香

本日のプログラム

1. ハレルヤ
 2. 天使のキャロル
 3. グノーのアベマリア
 4. そりすべり
 5. ディズニーメドレー
 6. クリスマスイブ
 7. クリスマスメドレー
 8. ジングルベル
 9. あわてんぼうのサンタクロース
-

活動後の感想・反省点・今後の課題

福大病院に続いて、こども病院でもクリスマスコンサートを行いました。

内容は同じですが、メンバーの内ピアノが八尋さんから安浪さんに変更されました。いつものことですが、こども病院はスタッフの方々が会場の準備を行ってくださるのでとても助かります。

コンサートは、ハレルヤの合唱で始まり、ピアノ連弾、フルート独奏、6人全員のアンサンブルなど、とても華やかなステージでした。福大病院と違って、こども病院では「クリスマスイブ」で発泡スチロールペーパーの雪の結晶とハート形の飛行機を降らせました。また、みんなと一緒に鈴や鳴り物で演奏した「ジングルベル」や「あわてんぼうのサンタクロース」でも子どもたちもご家族もとても喜んでいただきました。

福大病院の反省を踏まえて、開演前に段取りについて十分打合せをおこなったおかげで、コンサートはとてもスムーズに運びました。

参加者

OnPal / 真隅k、真隅s、松隈 G A P / 川崎k、城戸
病 院 / 来場者 / 80人



活動実施日時

2017年12月27日(水) 14:10~14:50

活動場所:

九大病院プレイルーム

活動内容

プレイルームコンサート

本日の出演者

マリンバ: 竹下 恵 チェロ: 井上 忍 ピアノ: 安浪由希子

本日のプログラム

聖者の行進
そりすべり
花のワルツ
シンコペーテッドクロック
おもちゃのシンフォニー
世界中のこどもたちが

活動後の感想・反省点・今後の課題

プレイルームは、感染症対策がとても厳しく、中に入れない子どもたちがたくさん部屋の外から窓越しに楽しんでいただきました。それでも、竹下さんの楽しいお話を交えながらの演奏に皆さん楽しんで頂けたと思います。

「世界中のこどもたちが」では、歌詞カードを配ってみんなで歌ってもらいました。

印象的だったのは、2歳くらいの子どもさんが、配った色々な楽器で上手にリズムに合わせて体を動かしてくれたことです。とても微笑ましくて盛り上がりました。

参加者

GAP/真隅潔、真隅昌子
病院/



活動実施日時

2018年2月14日(水) 11:00~12:00

活動場所

九州大学病院小児医療センター

活動名

ヴァイオリンを聴いてみよう、弾いてみよう

本日の講師・出演者

ヴァイオリン/工藤真菜、河原冴子

本日の授業内容・演奏プログラム

- ① オープニング ゴセック作曲 'ガボット'
 - ② クイズ~楽器紹介
アンダーソン作曲 'プリンクプランクプランク'
 - ③ ヴァイオリンで日本の曲を聴いてみましょう '夕焼け小焼け'
 - ④ ヴァイオリンの名曲を紹介します
モンティ作曲 'チャルダッシュ'
 - ⑤ みんなで歌いましょう 'ドレミのうた'
 - ⑥ 楽器体験 ヴァイオリンを弾いてみましょう
- ♪ アンコール 最後にもう一曲
チャイコフスキー作曲 くるみ割り人形より 'トレパック'

活動の感想・反省点など

- ① オープニングのゴセック作曲'ガボット'。院内学級でOnPalの演奏を初めて観るといふ生徒さんたちは緊張の面持ちです。
- ② クイズ~楽器紹介。弓に張られているのは、全員が「馬のしっぽ」に手を挙げ正解！ 続いて、ヴァイオリンはどの楽器の仲間でしょうかでも、全員「弦楽器」で正解！ そして音が高い順に並べましょうも正解！ 皆さんよく理解しています。第4問の「弦を抑えている指を前後に揺らして音の響きを豊かにする演奏法を何と言うでしょう」では悩みました。正解はビブラートですが、聞いたことがない言葉だったので、オブラートに手を上げた生徒さんがいました。第5問「今のようなヴァイオリンができたのは500年近く前(1550年ころ)と言われていますが、それはどこの国で生まれたのでしょうか。」では、ドイツを選んだ人が何名かいました。正解はイタリアです。
- ③ ヴァイオリンで日本の曲を聴いてみましょう '夕焼け小焼け'は弦楽器ならではのしっとりとした音色に心とんだ様子です。
- ④ ヴァイオリンの名曲 モンティ作曲 'チャルダッシュ'は、二人がメロディを交互に受け持つデュオならではの編曲で、メロディーが移るたびに首を動かしながら聴き入っていました。演奏前にフラジオレットの説明を受けていたので、その場面が出てきたら、どうやって弾いているのか注意深く見ていました。
- ⑤ みんなで歌いましょう 'ドレミのうた'は、二人ともヴァイオリンを置き、工藤さんはピアノを河原さんは歌と身振りを担当。生徒さんたち皆、音に合わせて手を動かしました。
- ⑥ 楽器体験では、サイズ違いの分数ヴァイオリンを2本持ってきていて、まず楽器の大きさ、弓の長さの違いを説明。体験したい人を募ったところ、前列の生徒さん全員が手を挙げました。皆一様に戸惑うことなく楽器を構えます。きっとそれまでよく観察していたのでしょう。最後に小学生、中学生の代表から嬉しいお礼の言葉を、先生から、OnPalメンバーの紹介をいただきました。

参加者

OnPal : 真隅k、真隅s、井上 GAP : 川崎
(音楽授業) 小学生9人 中学生6人 教師4人 他3人



活動実施日時

2018年2月16日(金) 14:30~15:30

活動場所

こども病院2F ひまわり学級

活動名

ヴァイオリンを聴いてみよう、弾いてみよう

本日の講師・出演者

ヴァイオリン/工藤真菜、河原冴子

本日の授業内容・演奏プログラム

- ①オープニング ゴセック作曲 'ガボット'
 - ②クイズ～楽器紹介
アンダーソン作曲 'プリンクプランクプランク'
 - ③ヴァイオリンで日本の曲を聴いてみましょう '夕焼け小焼け'
 - ④ヴァイオリンの名曲を紹介します
モンティ作曲 'チャルダッシュ'
 - ⑤楽器体験 ヴァイオリンを弾いてみましょう
 - ⑥みんなで歌いましょう 'ドレミのうた'
- ♪アンコール 最後にもう一曲
チャイコフスキー作曲 くるみ割り人形より 'トレパック'

活動の感想・反省点など

- ①オープニングのゴセック作曲'ガボット'。聴き終わってすぐ、「給食の時の音楽やった!」と開始前からワクワクしていた低学年の男の子。
- ②クイズ～楽器紹介。福大病院では文字がはみ出していたのが、問題なく表示されました。第3問の楽器の音の高い順の組み合わせのものを選ぶ設問について、選択肢の文字が詰まっていて読みづらいので、楽器の絵を見せて、音の高いものから低いものへ順に並べるよう問い方を変えてみてはいかがでしょうか?
- ③ヴァイオリンで日本の曲を聴いてみましょう '夕焼け小焼け'を演奏する前に、男の子が「歌詞忘れた!」と言いました。知っている曲は歌いたいのでしょう。一緒に参加することで一体感が生まれます。今後は歌詞を載せておくと良いですね。
- ④ヴァイオリンの名曲 モンティ作曲 'チャルダッシュ'は、素晴らしいテクニックの演奏で、音楽授業半ばでの集中力を持ち直させます。
- ⑤楽器体験では、もれなく全員が体験しました。足の治療中の人が多いので講師が楽器を持ち回り、座ったままで弾きました。教諭の方々にも体験してもらいました。
- ⑥みんなで歌いましょう 'ドレミのうた'は、みな最初のうちは動作を渋っていましたが、歌半ばあたりから手をたくさん動かして楽しんでくれました。

気になったのは、演奏中に教諭が生徒に話しかけると、演奏に見入る生徒たちを撮影するために歩き回ることです。音楽鑑賞をする姿勢として生徒に示しがつかないと思いましたが、ボランティアの立場で伺っている者として、どこまで言って良いものなのか考えさせられました。

参加者

OnPal: 真隅k、真隅s、井上 GAP: 川崎
(音楽授業) 小学生6人 中学生2人 教師2人 他3人



活動実施日時2018年2月16日(金) 11:00~12:00

活動場所福岡大学病院本館2F 菜の花学級

活動名ヴァイオリンを聴いてみよう、弾いてみよう

本日の講師・出演者ヴァイオリン/工藤真菜、河原冴子

本日の授業内容・演奏プログラム

- ①オープニング ゴセック作曲 'ガボット'
- ②クイズ～楽器紹介
アンダーソン作曲 'プリンクプランクプランク'
- ③ヴァイオリンで日本の曲を聴いてみましょう '夕焼け小焼け'
- ④ヴァイオリンの名曲を紹介します
モンティ作曲 'チャルダッシュ'
- ⑤楽器体験 ヴァイオリンを弾いてみましょう
- ⑥みんなで歌いましょう 'ドレミのうた'

♪アンコール 最後にもう一曲

チャイコフスキー作曲 くるみ割り人形より 'トレパック'

活動の感想・反省点など

- ①オープニングのゴセック作曲'ガボット'。4人の予定でしたが、一人治療、一人体調不良のため不参加でした。参加した生徒のうち一人の男の子は、楽しみにしていた様子でしたが緊張のせいかトイレに。コンサート最初と中に2回中座したため戻り待ちになりました。
- ②クイズ～楽器紹介。この教室のパソコンの環境によるものでしょうか、長い文字列で最後一文字が改行されてしまいます。フォントの調整で対応可能かもしれません。
- ③ヴァイオリンで日本の曲を聴いてみましょう '夕焼け小焼け'を演奏する前に、男の子が「歌詞忘れた!」と言いました。知っている曲は歌いたいのでしょう。一緒に参加することで一体感が生まれます。今後は歌詞を載せておくと良いですね。
- ④ヴァイオリンの名曲 モンティ作曲 'チャルダッシュ'は、コンサート半ばでの集中力を持ち直させます。
- ⑤楽器体験では、クイズで出てきたピチカートやポルタメントもやってみました。ポルタメントは音の引きずる感じが子供の興味を引くようです。
- ⑥みんなで歌いましょう 'ドレミのうた'は、歌に合わせて手を動かしました。レモンは頬っぺたの横でレモンの形のように手を合わせるのですが、先の男の子はなぜか拝むようにしていました。レは礼拝のレでも良いかもしれません。
教室の外はドア一枚隔てて病院廊下で、徒歩10歩のところに精神神経科の診療待合椅子が並んでいます。
ヴァイオリンの音は、部屋の中ではかなり響きますので、もしかしたらその待合椅子のところまで音が届いたかもしれません。先生は特に気にされていなかったのですが、室外に響いていたとしても大丈夫とは思いますが。

参加者OnPal : 真隅k、真隅s、井上 GAP : 川崎
(音楽授業) 小学生2人 中学生0人 教師2人 他1人



活動実施日時2018年3月27日(火) 14:00~14:40

活動場所九大病院小児医療センター プレイルーム

活動名プレイルームコンサート：カンタローのぼうけん

本日の講師・出演者

ナレーション／竹下 恵 フルート／白木彩子

チェロ／井上 忍 ピアノ／安浪由紀子

本日の授業内容・演奏プログラム

OnPalと元気アートプロジェクトが協力して1年がかりで創作した紙芝居コンサート「カンタローのぼうけん」の初演を行いました。

「カンタローのぼうけん」は紙芝居と音楽によるものがたりです。

楽しい絵とショパンのメロディーで、物を大切にすることを伝えます。

企画：特定非営利活動法人OnPal

原作・構成：松隈直知

イラストレーション：鄭 菊振

編曲：竹下 恵

エディトリアルデザイン：中牟田麻耶

助成：公益財団法人ベネッセこども基金

本日の初演は、開演の70分前に集合して会場の準備からリハーサルまで綿密に行いました。開演に先立ち、ナレーション（紙芝居おばさん）を務めた竹下さんが、物語の趣旨が環境問題にあることや、音楽がみんながどこかで聴いたことのあるショパンのピアノ曲を編曲したものであることなどを説明しました。

いよいよ紙芝居と演奏が始まります。

この物語のもう一つの仕掛けは、会場のこどもたちに絵本のキャラクターになってもらい、一言ずつせりふを言ってもらうことなので、自転車さんや、トンボさんや、くまさんなどを振り分けて、それぞれ場面ごとにせりふを読んでもらいました。

ショパンの名曲の数々をフルートやチェロで演奏するのは簡単なことではありませんが、練習を重ねた成果で、とても素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

おかげで、とても楽しいカンタローのイラストと、フルートとチェロとピアノのメロディーに、こどもも大人も真剣に見入ってくれました。

今後、回を重ねるごとにもっともっと見事な演奏になっていくことでしょう。楽しみです。

プレイルームはもともと幼児のためのスペースで、「カンタローのぼうけん」は幼児向けの内容ではないので心配でしたが、幼児もお母さん達も一緒に楽しんでくれたようです。

また、春休み期間中ということもあり小学生は2人しかいませんでしたが、この2人がとても気に入ってくれたようで、演奏後は、配布した「カンタローのぼうけん」の絵本に出演者のサインを求めたりして、とても楽しそうに話していたのが印象的でした。

反省点としては、マイクがなかったのでこどもやお母さんの読むせりふが聞き取りにくかったことと、自分の出番がいつかわからないので、それが気になって紙芝居や演奏を楽しむ余裕がなかったことでしょうか。次回は、マイクの準備と、始まる前に出番がいつごろかを教える工夫を行いたいと思います。

「カンタローのぼうけん」は、「うんち博士」に続く第2弾のオリジナル作品として、今後、色々な場面で公開できればと思います。

当面は、2018年度に、こども病院のひだまりギャラリーや福大病院のプレイルームで実施する予定です。また、九大病院も今回はプレイルームでしたが、院内学級の音楽授業で環境教育を兼ねて行うことを、院内学級の先生と相談したいと思います。

参加者

OnPal：真隅k、s GAP：川崎、松隈、小南、岸本、城戸

病院：幼児5人 小学生2人 ご家族7人 保育士／長谷川さん

事務／築田さん 深川さん

